

合格サポート定期便（13 年目標試験対策 2 次合格道場）11 月号

11 月号の主な番組内容

13 年目標合格に向けた 13 年目標の受講生を対象とした合格サポート便からのスピンオフ番組として「2 次合格道場」を今月よりお送りします！2 次試験合格のための対策やポイントを早坂講師が 1 年を通じて余すことなくお伝えします！初回は平成 24 年度 2 次試験の事例Ⅰ、事例Ⅱについて振り返りをします。

メールの募集について

「合格サポート定期便」は T A C 側からの一方的な情報配信番組ではなく、視聴されている皆さんとコミュニケーションをとりながら、一緒に作り上げていく番組です。

12 月号の予定内容・メールでいただきたいコメント

12 月号では、平成 24 年度の事例Ⅲ、事例Ⅳの振り返りを行います。ゲストには高畑講師をお迎えし、今後の財務対策についてもお聞きします。2 次対策及び財務に関する質問をドシドシお寄せください。

【メール受付期間】

随時受け付けております。主に 2012 年 12 月 3 日（月）まで 24：00 にいただいたメールについて、次号でご紹介していきます。

【メール送付の方法】 以下の案内に沿ってメールをお送りください。

- ・ 送付先メールアドレス：shindan-support@tac-school.co.jp
- ・ メールタイトル：「2 次合格道場係」と記載してください。
- ・ 本文：
 - ① 会員番号・お名前を記載してください。なお、番組内で採用されたメールは、お名前を公表します。匿名やペンネームなどの希望があれば併記してください。
 - ② 教室講座・DVD 講座の方は受講している校舎名（仙台校、新宿校など）、通信講座の方は利用している学習メディア（Web 通信、DVD 通信など）を記載してください。
 - ③ メッセージの書式は自由です。一度にたくさんのコメントをいただいても、一言だけでも結構です。



【ご注意事項】

- ・ ラジオ番組の葉書と同様、いただいたメールに関する回答は番組内でのみ行います。個別にメール返信は行いませんのでご了承ください。
- ・ 学習内容に関するご質問にはお答えできませんのでご了承ください。

以上

☆合格サポート定期便スピンオフ番組
「2次試験合格道場」11月号

～平成24年度2次試験振り返り～

確実な合格ライン?! (あくまでも早坂の想定です)

■事例Ⅰ…50～60点

- ・第1問…10点。1つ取れていればOKです。
- ・第2問…10点。ちょっと難しいです。
- ・第3問…10点。技術習得か文化相異の観点、どちらかでOKです。
- ・第4問…10～15点。役割は難しいです。能力のほうで取っておきたいです。
- ・第5問…10～15点。書けることが限られているので(感触がなくても)得点入ります。

■事例Ⅱ…50点

- ・第1問…5点。半分でOKです。
- ・第2問…25点。掛け間違えなければ(設問1)は満点、(設問2)は「工場」が得点要素になっているとすると、-5点でOKです。
- ・第3問…5点。(設問1)取れた方は十分なアドバンテージになっています。(設問2)は(設問1)とは切り離して得点入っているかもしれませんね。
- ・第4問…15点。組み合わせの相違に関しては柔軟に得点入ると思います。

■事例Ⅲ…60点

- ・第1問…10点。ここは取っておきましょう。
- ・第2問…10～15点。グラフをしっかりと読みとって得点重ねておきたいです。
- ・第3問…25点。(設問2)は少し難しいですが、(設問1)は比較的、分かり易いです。
解答にまとめるのは少し面倒です。
- ・第4問…15点。第2問との切り分けが面倒です。

■事例Ⅳ…60点

- ・第1問…10点。売上高、支払利息、指標で部分点が入るかと思います。
- ・第2問…30点。ここは取っておきたいです。
- ・第3問…20点。(設問1)で15点、(設問2)で5点のイメージです。(設問2)は内容によってはさらに加点あるかもしれません。

■全体…220点～

もちろん、240点に届けば絶対的に合格です。

今年の難易度であれば220点くらいが上位10%に落ち着きそうです。

あとはどこまで踏ん張ったか。

事例4の全体的な結果によっては180点くらいまでは拾えそうな感じもしています。

今日のまとめ（11月号）

その1 事例Ⅰは原則、類推対応が必要となる。

その2 事例Ⅱは対応付けに気を付ける。

その3 知識の補充も用意周到に。

その4 「2次試験」のルールを忘れない。

（例）時系列での切り分け など

☆合格サポート定期便スピンオフ番組
「2次試験合格道場」11月号

■第1問

自	動	車	メ	ー	カ	ー	等	の	グ	ロ	ー	バ	ル	化	が	進	み	東	南
ア	ジ	ア	等	で	の	現	地	生	産	に	対	応	す	る	た	め	。		

業	種	・	業	態	の	違	い	や	規	模	の	大	小	を	問	わ	ず	地	球
規	模	に	事	業	を	展	開	し	よ	う	と	し	て	い	る	た	め	。	

※2つとも同じような論点ですが、「自動車業界」と「業界問わず」という切り分けをしました。

■第2問

X	社	は	自	動	車	メ	ー	カ	ー	か	ら	の	軽	量	化	要	請	や	T
国	へ	の	進	出	等	に	は	A	社	の	技	術	革	新	が	必	要	不	可
欠	で	あ	り	、	Y	社	の	要	請	に	対	応	す	る	と	小	規	模	な
A	社	に	と	っ	て	経	営	資	源	が	分	散	し	、	S	国	の	品	質
保	証	体	制	を	確	保	す	る	こ	と	が	で	き	な	く	な	る	た	め

※X国は時系列の観点からなくても大丈夫かもしれません。

■第3問

い	か	な	る	不	良	も	不	具	合	も	あ	っ	て	は	な	ら	ず	常	に
製	品	に	完	璧	が	求	め	ら	れ	る	と	い	う	本	社	の	意	向	や
考	え	方	と	い	っ	た	文	化	や	風	土	の	浸	透	や	、	気	温	や
湿	度	、	一	回	の	処	理	工	程	で	加	工	す	る	製	品	数	等	の
条	件	が	異	な	る	際	に	完	全	に	同	品	質	製	品	を	製	造	す
る	技	術	の	習	得	等	に	相	当	の	時	間	が	掛	か	っ	た	た	め

※第8段落「月に一度の役員派遣と日本国内での教育」、さらに第6段落「(諸条件が変化しても) ある程度まで同品質」を根拠としています。

常に完璧を求める企業にとって「ある程度まで同品質」というのが少し気になっています。

再現答案でも、文化と技術の双方を盛り込んでいる解答も少なからずありました。

☆合格サポート定期便スピノフ番組
「2次試験合格道場」11月号

■第4問

海	外	展	開	に	お	い	て	A	社	主	導	で	技	術	開	発	や	パ	ー
ト	ナ	一	企	業	と	の	連	携	を	図	り	事	業	基	盤	の	構	築	を
担	う	リ	一	ダ	ー	シ	ッ	プ	の	役	割	を	期	待	す	る	。	取	引
先	企	業	の	状	況	を	考	え	継	続	的	に	業	務	プ	ロ	セ	ス	を
改	善	す	る	状	況	把	握	・	提	案	能	力	、	問	題	点	に	対	す
る	発	見	能	力	・	迅	速	な	対	応	能	力	を	向	上	さ	せ	る	。

※係長クラスの人材にどこまで何をさせるのか？取締役の代替をさせるのかどうか？
で解答が分かれそうです。そのような再現解答も多かったです。

■第5問

取	扱	い	製	品	や	営	業	先	の	開	拓	等	、	各	部	門	の	業	務
内	容	に	応	じ	た	目	標	と	達	成	度	を	定	め	、	対	象	外	と
な	る	約	9	割	の	正	社	員	や	非	正	規	社	員	に	対	し	て	も
収	益	が	公	平	に	分	配	さ	れ	る	よ	う	に	設	計	す	る	。	導
入	に	あ	た	り	社	長	か	ら	の	十	分	な	説	明	や	納	得	性	を
持	た	せ	意	識	改	革	や	シ	ス	テ	ム	改	革	に	取	り	組	む	。

※「4部門各2課」が気になって仕方ありません…

(部長×4部門) + (課長×4部門×2課) = 12人

∴109人 - 12人 = 97人が対象外